

研究代表者	所属学系・職名 法律・政治学系 教授 氏 名 吉高神 明
研究課題	アジア地域協力・統合の進展と新ビジネスの展開：東日本大震災被災地の復興へのインプリケーションを中心に Regional Cooperation/Integration and New Business Trends in Asia: Implications for the Recovery of Affected Areas of March 11 <sup>th</sup> Disaster
成果の概要	<p>本研究の目的は、近年のアジア域内協力・連携の深化を踏まえ、「新中間層」のライフスタイルと消費動向に焦点を当てつつ、アジアにおける新たなビジネスの可能性について理論的・実証的に考察することにある。</p> <p>アジア・アフリカを中心に年間所得 5,000～35,000 ドルの中間所得層は、2030年には約24億人に達すると予測されている。これら新中間層のライフスタイルと消費行動は、今後世界経済に大きな影響を及ぼし続けていくことになる。本研究では、このようなアジアにおける「新中間層」の動向について、「電力・エネルギー」、「情報通信」、「金融」、「クールジャパン」の4つの観点から調査を実施した。</p> <p>「アジア域内協力・連携の深化」、「アジアの新中間層の新しいライフスタイルと消費動向」、「日本の海外展開強化戦略」、「東日本大震災被災地の復興」をそれぞれ関連付けて考察を行う本プロジェクトは、目下継続中の福島の風評被害対策に対しても大きな政策的意義を有するものである。</p> <p>本研究の最終成果の一部については、研究代表者が福島大学で担当する講義（国際公共政策論、国際関係論、Japanese Politics and Diplomacy in the Changing World）、一般市民を対象とした講演会、高等学校での模擬授業等を通じて広く社会に還元した。</p> <p>また、本プロジェクトを契機として、東日本大震災被災地の復興支援の観点から、「地元発伝統文化・物産・職人技術の継承」や「再生可能エネルギー」に焦点をあてた「ソーシャルビジネス&amp;ファイナンス研究所（仮称）」設立に向けて検討を行っているところである。（次ページ図参照）</p>

